

# 令和6年度（2024年度）学力向上に向けた授業づくりの視点

菊池教育事務所

※これらの視点を参考にした授業づくりをお願いします。

※各種訪問事業における授業研究会では、裏面の流れに沿って自評を述べてください。

## 1 重点事項

- (1) 学習規律の徹底（学級経営の充実）
- (2) 基礎学力の保障（分かる喜びの実感）
- (3) 「ゴールの姿」の明確化（単元のまとまりを見通した学びの構想）
- (4) 一単位時間の授業改善（導入・展開・終末を組み立てる授業構成力）

## 2 授業づくりの視点

| 重点事項 |   | 視点（教師が意識して行うこと） |                                |
|------|---|-----------------|--------------------------------|
| 1    | 学習規律の徹底<br>（学級経営の充実）                    | ①               | 話の聞き方と発表の仕方を徹底し、粘り強く指導する。      |
|      |   | ②               | 認め、ほめ、励ますなど、肯定的な声かけや関わりを積み重ねる。 |
|      |   | ③               | お互いの思いや意見を伝え合える集団づくりに努める。      |
| 2    | 基礎学力の保障<br>（分かる喜びの実感）                   | ④               | 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。       |
|      |   | ⑤               | 理解が不十分な児童生徒への支援・指導を工夫し、底上げを図る。 |
| 3    | 「ゴールの姿」の明確化<br>（単元のまとまりを<br>見通した学びの構想）  | ⑥               | 単元終了時の児童生徒の姿を具体的にイメージする。       |
|      |   | ⑦               | 単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）を設定する。  |
|      |   | ⑧               | 本単元で働かせる見方・考え方を明確にする。          |
| 4    | 一単位時間の授業改善<br>（導入・展開・終末を<br>組み立てる授業構成力） | ⑨               | 導入を工夫し、学ぶ意欲を高める。               |
|      |   | ⑩               | 「何を学ぶのか」が分かる「めあて」を提示する。        |
|      |   | ⑪               | 「じっくり考え」「はっきり表現」する場を位置付ける。     |
|      |   | ⑫               | 「何を学んだのか」が分かる「まとめ」を提示する。       |
|      |   | ⑬               | 視点を明らかにした「振り返り」を計画的に位置付ける。     |
|      |   | ⑭               | I C T機器を効果的に活用する。              |
|      |   | ⑮               | 学びの過程が分かる板書を工夫する。              |

### 3 「授業研究会」「自評」のあり方

本年度は、すべての子供たちに「分かる喜び」を味わわせることで、誰一人取り残さない学びの保障をめざします。そのためには、学習規律を徹底させ、分かる喜びを味わわせるための単元構想力や授業構成力が重要となってきます。

そこで、授業研究会としては先生方のこだわりをお伝えいただき、今の先生の学級にとって必要とされるものは何かについて一緒に考え、議論を深めていきたいと考えています。

まずは、下記の内容で自評をお伝えください。(あくまで参考例です)

|   |                                     |  |
|---|-------------------------------------|--|
| 1 | 学習規律の徹底<br>(学級経営の充実)                | 今、学習規律で特に意識していることは( )で、具体的に( )のような取り組みを進めています。また、安心して学べる学級を目指し、日頃から( )のような取り組みを進めています。 |
| 2 | 基礎学力の保障<br>(分かる喜びの実感)               | すべての子供たちが分かる喜びを実感できるために、日頃から特に( )を意識して取り組んでいます。  |
| 3 | 「ゴールの姿」の明確化<br>(単元のまとまりを見通した学びの構想)  | 本単元を構想するにあたり、「ゴールの姿」を( )とし、本時は( )をねらいとして構想しました。  |
| 4 | 一単位時間の授業改善<br>(導入・展開・終末を組み立てる授業構成力) | 本時では、特に( )にこだわり、すべての子供たちが分かる喜びを実感できるよう構成しました。<br>※達成できた部分・課題が残った部分                     |

### 4 質問紙調査との関連

|   | 重点事項                  | 学校教師質問紙調査  | 総合質問紙調査 (i-check)   |
|---|-----------------------|--|---|
| 1 | 学習規律の徹底               | 4 学習規律の維持を徹底<br>R5肯定的回答：96.3%<br>「よく」45.0%「どちらかといえば」51.3%                          | ○クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがある。<br>R5肯定的回答：44.4%<br>「いちどもない」11.9%「ほとんどない」32.5% |
|   | 学級経営の充実               | 3 良い点や可能性を見付け褒める<br>R5肯定的回答：97.4%<br>「よく」34.9%「どちらかといえば」62.5%                      | ○先生は、クラスみんなのことをほめたり、はげましたりしてくれる。<br>R5肯定的回答：92.9%<br>「よく」53.3%「まあまあ」39.6%               |
| 2 | 基礎学力の保障<br>(分かる喜びの実感) | 14 個に応じた指導の充実<br>R5肯定的回答：88.4%<br>「よく」19.2%「どちらかといえば」69.2%                         | ○先生は、分かるまで教えてくれる。<br>R5肯定的回答：85.8%<br>「当てはまる」43.2%「どちらかといえば」42.6%                       |
| 3 | 「ゴールの姿」の明確化           | 9 単元終了時の児童生徒の姿<br>R5肯定的回答：94.1%<br>「よく」31.1%「どちらかといえば」63.0%                        | ○学校の授業で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つ。<br>R5肯定的回答：88.0%<br>「必ず役立つ」36.4%「たぶん役立つ」51.6%             |
|   | まとまりを見通した学びの構想        | 8 まとまりを見通した授業改善<br>R5肯定的回答：93.2%<br>「よく」26.5%「どちらかといえば」66.7%                       |   |
| 4 | 一単位時間の授業改善            | R5肯定的回答<br>10 めあて 95.0%<br>11 グラフ等関連して表現 86.3%<br>12 意見交換 92.5%<br>13 振り返る活動 82.3% | ○授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。<br>R5肯定的回答：67.6%<br>「当てはまる」23.9%「どちらかといえば」43.7%      |